

熊本大学医学部附属病院 代謝・内分泌内科 専門修練プログラム

1. プログラムの概略・特徴

代謝疾患、内分泌疾患について高度の診療技術、専門的知識をもつ内科専門医を育成することを目的としたプログラムである。本プログラムにより認定内科医をはじめ各種の内科専門医の修得が可能である。更に希望者には、後期1年目（3年次）から大学院に進学し高度な基礎および臨床研究を行うことも出来るシステムとしている。

2. 研修の目標

【一般目標】

代謝疾患、内分泌疾患に関する基本的な知識を修得、適切な診断と治療を講じる力を身につける。

【行動目標】

- 糖尿病及び耐糖能障害の診断、糖尿病の病型診断ができる
- 経口ブドウ糖負荷試験や血糖制御マーカーの解釈について、正しく説明できる
- 糖尿病各種治療法の正しい選択ができる
- 糖尿病に関する合併症の評価と治療法の選択ができる
- 糖尿病性昏睡、低血糖発作の診断と治療法の選択ができる
- 外科手術時の血糖制御、シックデイ対策に関する正しい指示ができる
- 下垂体ホルモン分泌刺激・抑制試験、甲状腺機能検査、副腎機能検査の方法について説明でき、さらに正しい評価ができる
- 下垂体前葉機能低下症・汎下垂体前葉機能低下症、尿崩症、SIADH、先端肥大症・下垂体巨大症、甲状腺機能亢進症・甲状腺機能低下症など甲状腺疾患、副腎皮質機能低下症、クッシング症候群、原発性アルドステロン症、褐色細胞腫、原発性副甲状腺機能亢進症、インスリノーマの診断と治療を行うことができる

3. 研修スケジュール

	専門医(短期)取得コース	専門医・学位取得コース	学位(短期)取得コース
1年目	スーパーローテート	スーパーローテート	スーパーローテート
2年目			
3年目	熊本大学代謝・内分泌内科における臨床研修		大学院(代謝内科学)
4年目	大学病院/関連病院での臨床研修 認定内科医取得	大学院(代謝内科学) 認定内科医取得	↓ 学位取得
5年目		↓ 学位取得 (認定内科専門医)	
6年目			臨床研修
7年目	各種専門医取得	↓ 認定内科医取得	↓ 海外留学
8年目	大学病院/関連病院/海外留学	海外留学	
9年目		大学病院/関連病院	
10年目～	各種指導医取得	各種専門医取得 各種指導医取得	各種専門医取得 各種指導医取得

4. 評価

研修目標に関して、指導医が評価を行う。

研修医は指導医とともに修得できていない点を修得すべく研修を進めていく。

また、各認定医・専門医に関するカリキュラムを踏まえて、評価を行う。

5. 募集人員

制限なし

6. 実施責任者

責任者：熊本大学医学部附属病院 代謝・内分泌内科 教授 荒木栄一

7. 指導責任者

責任者：熊本大学医学部附属病院 代謝・内分泌内科 教授 荒木栄一

8. 関連施設、学会認定状況

熊本大学医学部附属病院 代謝・内分泌内科（内科学会、糖尿病学会、内分泌学会、老年医学会認定施設）

国立病院機構熊本医療センター 内科、糖尿病センター及び救命救急センター

（内科学会、糖尿病学会、内分泌学会、救急医学会認定施設）

熊本地域医療センター 代謝内科（糖尿病学会認定施設）

公立玉名中央病院 代謝内科・循環器科（糖尿病学会、循環器学会認定施設）

八代総合病院 糖尿病センター（糖尿病学会認定施設）

熊本市市民病院 内科（内科学会認定施設）

済生会熊本病院 腫瘍・糖尿病センター（内科学会、糖尿病学会認定施設）

熊本労災病院 内科（内科学会認定施設）

荒尾市民病院 代謝・内分泌内科（糖尿病学会認定施設）

水俣市立総合医療センター 糖尿病内分泌センター（糖尿病学会認定施設）

NTT西日本九州病院 代謝・内分泌内科（糖尿病学会認定施設）

9. その他

(1) 専門修練入局者：平成19年度：4名、平成20年度：3名、平成21年度：5名、平成22年度：3名、平成23年度：4名

(2) 学位取得者：平成18年度：2名、平成19年度：4名、平成20年度：4名、平成21年度：2名、平成22年度：3名

(3) 教室員は九州内の大学のみならず日本各地の大学出身の医師が在籍しており、教室員の平均年齢が若いこともあり、雰囲気は明るく民主的で、また、先輩医師の面倒見が良いのも大きな特徴です。

10. 連絡先(担当者)

☎860-8556 熊本市本庄1-1-1

熊本大学大学院生命科学研究部代謝内科学

医局長 本島 寛之（もとしま ひろゆき）

Tel:096-373-5169

E-mail:hmoto@gpo.kumamoto-u.ac.jp